

お誕生ありがとう

長崎教区
寺本 てらもと 温 あつし



4月8日はお新選様のお誕生をお祝いする「花まつり」です。皆さんはお誕生をお祝いするとき、何と話しますか? 多くは、「お誕生日おめでとう」だと思います。それも悪くなじかず、お誕生には「いつのことから」「あつがどつ」と聊のいとも大切だと思します。

一つ目は、お釈迦様がこの世にお生まれになつてお悟りを開かれ、教えを説いてくださったことです。その教えはまず、生まれてきた意味を「天下唯我獨尊」(じかのむけあらわしあるこくわんぞく)にあつても、誰と比べることなく、どんな自分も尊い人生とただしこうが大切)と説かれています。お釈迦様は2600年ほど

おおへとこへじゆくこもへ、（あひ）自
分を苦しめたり、つまひなく思つてし
まうのも自分だと云ふことだ。言ふ
方を変えれば、都合のいい自分も、都
合の悪い自分も人生にとつては大切な
尊いかけがえのない今をいただいてい
るところのことです。そこに成づかされ
ると、どんな人生も丸ごと大切で尊い
人生だといただけます。また、私たち
はついつい他の人と比べて幸せを感じ
たり、不幸を感じたりします。
お釈迦様は「誰と比べる必要もなく、
あなたそのものが大切で尊いのです」
と教えてくださいます。そのしますと、
お釈迦様が生まれてこられなかつたら、

子どもたちと聞く法話

自分が自分に生まれてきたことを本当に喜べなかつたかもしれないと云つてゐる。ですから、「お釈迦様もつゝ生まれてへばだらうとした。ありがといふ」と云ひのじゆ。

二〇四年は、お釈迦様の教えに出遇わせていただじて、どんな自分の人生も尊くただけたとき、自分を生んでくださったお父さんやお母さんに「生んでくれてありがとう」と心の底から言えるところです。都合のいい自分しか認められないとれば、都合がよけ

「あつー、茶碗を割ったね」と言ひ
けれど、自分が割ったときは『茶碗が
割れた』と茶碗のせひのように言つて
しまうね」と言つていました。まさに、
自分のことはなかなかわからぬでござ
りて、人に対する自分をえこひじきして
いることを教えられました。

一度、花まつりや自分の誕生日で「お
祝迦様お誕生おめでとう。そして、お

蓮ちゃん通信 その②

2015年4月14日(火) 東北

「絵本ではじめる講習会」を開催します!

絵本の魅力にふれていただくとともに、その活用について学んでいた
だく講習会を今年度は岩手県盛岡市で開催いたします。

絵本を活用した子ども会の一助に、ぜひご参加ください。

【定員30名／3月20日(金)申込締切】

※詳しくは、「真宗」2月号・3月号をご覧ください。